

神戸を語る

吉行和子



民芸の若手女優として、映画に
TVにと活躍めざましい吉行和子
さん（作家吉行淳之介氏実妹）は
波い演技力をもった得難いタレン
トです。昨年末、神戸でも上演さ
れ好評だった「火山灰地」では、
主人公雨宮さんの女中役“じの”
に扮してのびのびとした演技で民
芸ファンの目をたのしませてくれ
ました。以下はその神戸公演の合
間にうかがった吉行さんの「神
戸礼讃・演劇論」――

もちろんお仕事で来るのでですが
神戸には、もう数回きていますね
いつもギッシリつまつたスケジュ
ルでゆづくり見物する時間がす
くないんですが、それでも無理し
て真っ先に実行するのは、元町

と三宮へ出かけることです。

別に何を買うといった目当もない
んだけど、必ず足をむける習慣が
ついてしまいました。そして気が
向けば、クツのお店をのぞいたり
センター街角のドンクでお茶とサ
ンドキッズをいただきます。

各商店に並べられている品は、
東京にはないステキなものばかり
に思えるし、食べものもおいしい
ので神戸にくることは楽しみなん
ですよ。それと、いつきても感じ
るのは、女の方の服装がとても洗
練されているということです。着
てらっしゃる洋服の色がキレイだ
し、流行をたくみに生かしたおし
ゃれをなさってる方が目立つもの
神戸の特色でしょうね。

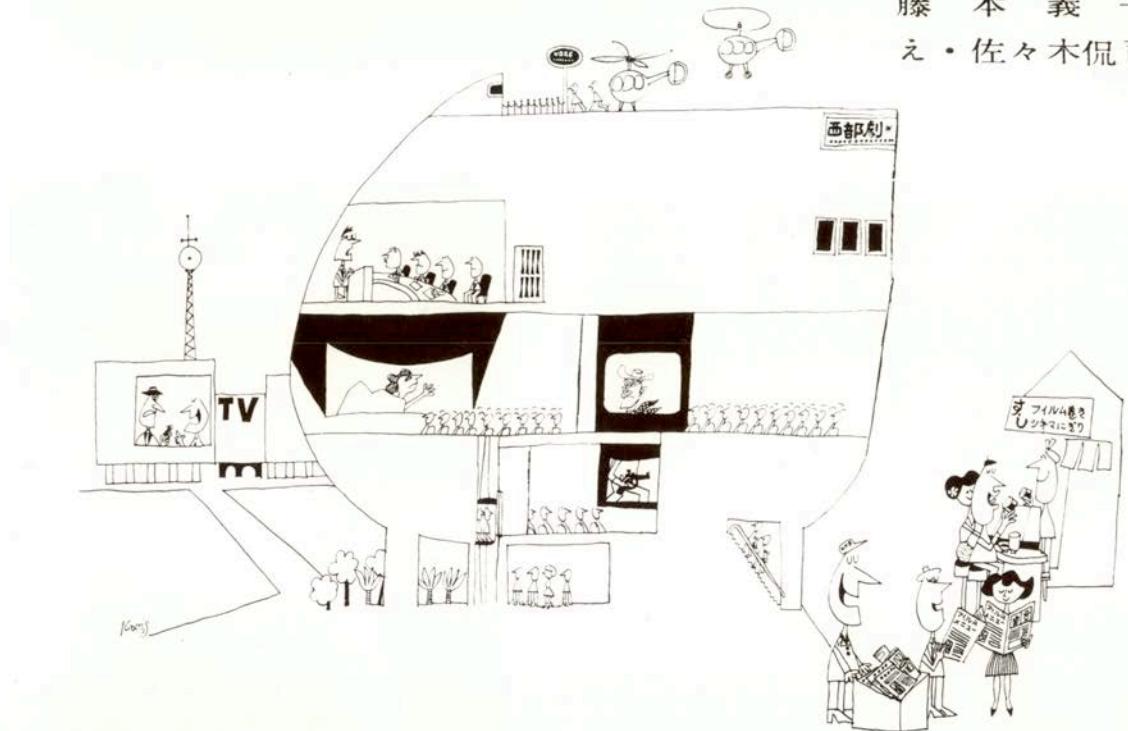
特色といえば「みなと」で眺めた
外国船のズラリと並んだ風景はほ
んとうに壯観でエキゾチックなム
ードがいっぱい。民芸（研究所

時代を含めて）に入つてもうす
ぐ十年を数えようとしています。
民芸の「犯したもの」を観たとき
に受けた感激が一つの動機で、研
究所に入れなければ、舞台裏のお
手伝いでもいいから演劇の勉強を
したいと当時は必死でした。だか
らバスした時の喜びは忘れられま
せん。初舞台は何かと話題になっ
た「アンネの日記」です。映画
は日活の「才女賢氣」「にいあん
ちゃん」「町にアドバルンがあが
る時」「この若さある限り」など
です。舞台でも映画でも、一生懸
命に働いている女性といった役が
一番好きです。また同じ職業の方
では、自分を飾らないで一生懸命
やってらした方たちをほんとうに
心から尊敬しています。今年もが
ん張ります。

（写真は国際会館エメラルド・パ
ーラーで語る吉行さん）

神戸だからえがく夢 No. 3

藤本義一
え・佐々木侃司



神戸フィルムスーパー・ホール完成!

全国からの愛好者の為にヘリコプターサービス!
ホール内にスクリーン学会を新設!
フィルムスーパー・ホール会員は5割引!
特別会員には裏口、ロハエレベーターサービス!

フィルムメニュー紙発刊!

最高の売れ行き!

神戸すし屋協会はフィルム巻き、シネマにぎり、シネラマ五目ずしを発表、神戸すしフアン一挙にカクトク!
テレビ視聴率ゲン退の兆し
あるTV局は殺し屋をやとう!えらいことになってきた

シネマ族奮起せよ！

東京・京橋の国立近代美術館には付属のフィルム・ライブラリーがあるて、邦画洋画を問わず数百部の所蔵品をもつていて、これを毎週、愛好者に観せていく。私も4年ばかりまえ、松竹映画の記念すべき作品、小内山薫の「路上の靈魂」を見た。ドイツ映画「カリガリ博士」から「ジークフリード」をはじめ戦前戦後の代表作がスクリーンにかかる機会をもつて、なにが東京都民だけにそんな特権を与えていたのか。

ところでこのフィルム・ライブラリーでは、外國にある映画博物館のそれにくらべると段違いの貧弱さ。これには映画製作会社のタクイマンもせめられるが、いまそれをいってもはじまらない。それよりも注目したいのは、東和映画で知られた川喜多長政、かしこ夫妻の娘和子さんが、名作映画のコレクターに目を向けてくれていること。さらには東宝がつい最近、森岩雄氏の発言にもみられるような前衛作品が興業的に危ぶまれる理由でおクラになつたり、国内でつくられた六社以外の作品が陽の目をみなかつたりの現状だが、そ

うした注目作品を選んで全国三十
ほどの特定上映館で映画爱好者に
見せようというのである。ところ
がこれにしても、まず東京でテス
ト館をつくり、おいおい主要都市
に拡げていこうというのだから、
神戸でこの運動が花ひらくのは今
の計算でいくとまだ数年はかかり
そう。さて、ここで、かつての
映画批評はなやかなりし神戸をふ
りかえってみよう。

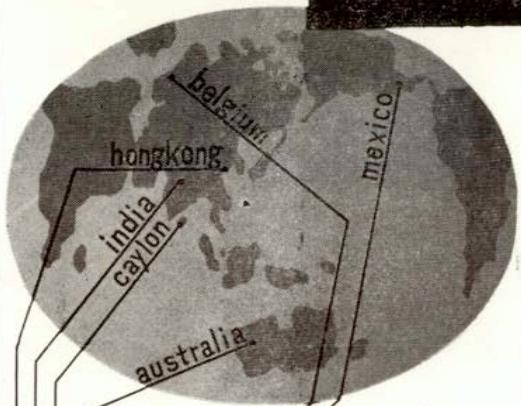
神戸で映画界が業界、ファンと
もに黄金時代を築いた昭和初年は
関東大震災でいっさいの市場を失
なった映画配給社が洋画邦画とともに
に関西へその基地を移した結果で
あった。のちに松竹少女歌劇の本
拠、大劇の支配人をつとめた柳三
郎氏がまず最初のファン雑誌を出
し、柳原生まれで新映画「フォア
イエ」の会を世話していたその人
こそいまはテレビ映画「ララミー」
牧場」のあとワクで「西部劇裏話
」をやっているニギニギのおじさ
ん淀川長治氏(映画評論家)昭和23
年から4年頃、酔つていて新橋駅
ホームから落っこち、列車にひか
れて死んだ水町青磁氏は、これも
また雑誌「夜の神戸」を出してい
た。やがて上京してキネマ旬報の
編集にたずさわったジャーナリスト
のちの東和映画宣伝部長筈見恒
男氏は東京で震災に会い当時、北
野町あたりで料理屋をしていた父

をたよって神戸へやってきた。そしてこの地で「キネマニユース」の編集に当つたのである。外国映画の配給社のほとんどは神戸港が本拠地で、税関を通つて輸入されるフィルムを扱うために日本支社を神戸においた。NCC営業部長であった中西一夫氏、コロンビア関西支社宣伝部長の浅野秀治氏、帝キネ宣伝部長の寺井一夫氏、現在は日劇ミュージックホールでストリップ・ガールに開まれて悦にいってゐる丸尾長顕氏は、当時、宝塚で「歌劇」の編集に当つていたし、内海重典氏は「キネマクラブ」をめぐる会」に、また高木史郎氏も神戸で活発な動きを見せていた。いまも京都におられる村上忠久氏、朝日テレビの重役におさまっている原清氏、兵庫の植木屋の息子の雑誌寄稿からついには大阪松竹座の初代宣伝部長となつた岡崎茂一郎氏（故人この人は「絶贊」という言葉の生みの親）、などが神戸で口に筆に映画芸術の花を咲かせてゐた。そんなユイシヨアある神戸の街にいふべきは閑古鳥がないでいる。

いまも続いて「スクリーン」などに批評を書き続けてる杉山一平氏、戸田隆雄氏をはじめ、橋元正一氏、改田博三氏ほか8人もの映画批評家を容易にあげることができるのに、神戸のこの裏さびれた光景はどうだろか。

戦後数年間は神戸でしばしば開かれていた試写会にも、いまでは大阪へ出かけて見なければならなくなつた。映画企業家は神戸の映画批評家をへたのむにたらず、と思ひはじめたのだろうか。ここいらでみなさんの奮起を求めるのである。映画の批評世界でも輝かしい過去をもつ神戸のために、

DIAMOND



ダイヤ
メキシコオパール
オパール
猫目石スター・サファイヤ
エメラルド・ルビー・サファイヤ
ヒスイ

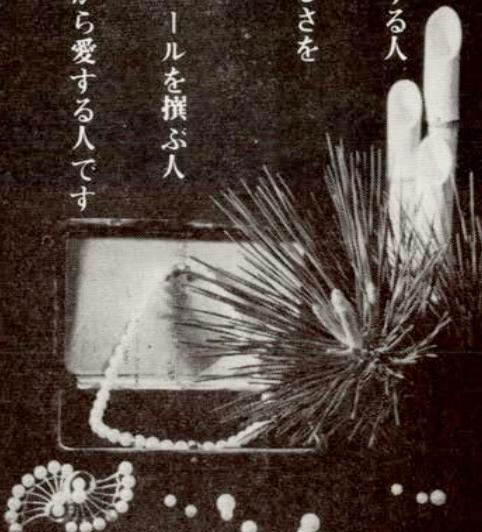
宝石輸入商・宝飾店

世界の
宝石を
結集した

タジマ

神戸・元町2丁目
TEL ③ 0387・2552

真珠を愛する人
それは
真珠の美しさを
もつた人
そして
タサキのパールを擴ぶ人
それは
真珠を心から愛する人です



神戸・三宮駅前 新聞会館内

田崎真珠店

TEL (22) 5646

ガールハント

森 春二

近代の科学の発達には、まったく恐るべきものがあります。ひと昔前には、月ロケットなんて夢物語りじゃあなかつたでしようか。例のミサイルっていうのも、すごく性能がすぐれているものができたとやら、これに核弾頭をつけた数発ぶつばなずと、地球上の人間どもは、おおかた死んじまうそうなんで……いやはや、当節はまたたく、ぶつそうで住みにくい世の中になつたもので……。

ところで、新春公開された映画に「ガールハント」てえのがござえやす。アメリカはM.G.M.映画会社の産ですいぶんとゴキゲンナ青春喜劇といったところなんですが、ありきたりのドタバタだけじゃなく、ともすれば、軍事面ばかり偏重して発達、ぶつそうな住みにくい世の中をつくる近代科学のあり方に痛烈な批判をきかせたもので、ちょいと胸のすく一編です。つまり、ミサイルのオシリを追い

かけ回している電子頭脳を使ってたまにはルーレットの玉や女の子のオシリを追っかけさせてみようというのがこの映画の奇抜でおもしろい趣向。まあ、なんですね。近代科学兵器の平和利用ってえところですか。これをアメリカの海軍さんにやらせるってえ設定は、なかなかハリウッドらしい反逆精神じゃないですか。この戦略兵器の平和利用の発案者というのが海軍大尉のステイプマックイーン。

この先生、どこかでおみかけしたと思つたら、あの坊主頭のユル・プリンナー主演の映画「荒野の七人」いう西部劇にててきたシブイご面相の男。西部劇ではいい味をみせたが、ガラリとちがつたこの青春喜劇でもけつこう楽しませてくれる。このほか、近く公開される「キング・オブ・キングス」に登場する、いま、もっぱらの評判のティーン・エージ・スター



ブリジッドバズレンがマックイーンの恋人役に「ボーイ・ハント」で売り出したジム・ハットンとボーラ・ブレンテイスらがマックイーンの相棒で出演、まずは、おなかの皮をよじらせてくれること受けあい。

まあ、なんですね、競馬競輪をはじめマージャンやパチンコでざくざくもうけたいかたがたや彼女の本心をよみとりたいかたがたは、この映画をみて電子頭脳の使い方を研究なさるんですね。え、なんですかって、おかみさんへのヘソクリのあり場所を知りたいつて……それくらい朝メシ前まあ、とにかく近代科学の発達のおかげで住みにくくなつた世の中を、逆に近代科学の生んだ利器を使つて大いに楽しみ笑いとばそつてんですから、みていて痛快です。軽いタッチでソツなく見せるところはリチャード・ソープ監督

（神戸新聞学芸部）

WINTER FASHION

冬の装い



冬の町に着る

二人で楽しいショッピング——彼はツイードのオーバーに合わせてチェックの素的なマフラー、わたしはシックなハンドバッグを買いました。

ハンドバック専門の店

トーレ洋装店
元町二
(3)0811

三恵洋服店
新聞会館1階
(2)2818

トーレ洋装店

紳士服

三恵洋服店

元町四 (4)7290

紳士服

スコツチ

センター街(3)5041
山手店・モダン寺西一
(4)1733
二二



冬のいこいの 夜に着る

楽しい夜のひととき
大胆なダイヤ模様の
セーターの彼と微笑
みかわすわわたしの衿
元にイタリアン製の
スカーフがあつたか
い。

男子洋品の店

フナキヤ

元町三 (3)三六一七

紳士洋品の店

サカエ

元町二 (3)五一二三

お部屋の装飾アクリセサリー

芸げいむ夢

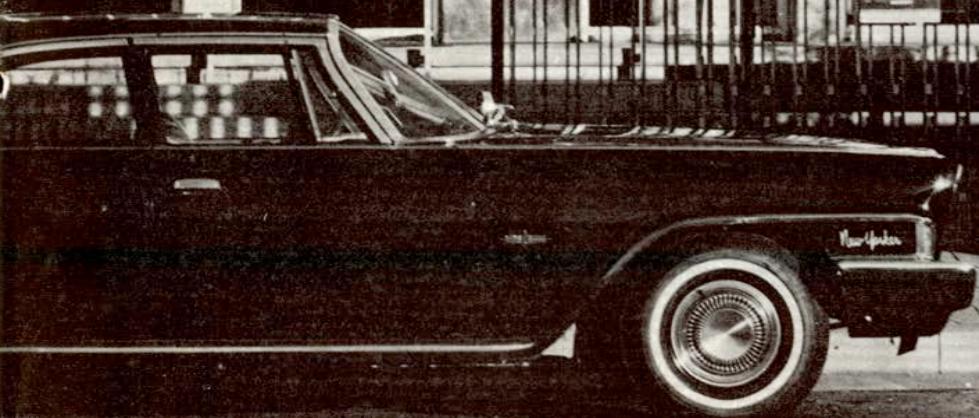
アロード (3)二二九三

新入婦人服地雜貨の店

エニス・ターン
トア・ロード G-一八一八



luxurious Chrysler... every one a Chrysler's worth
—no jr. editions to compromise your investment!



オーサカ・インターナショナル
オートショー
とき 1月26・27・28日
ところ 国際見本市港会場
出陳車50輌 参加国7カ国

‘62年型輸入外車
一般用入札販売

来る2月12日(予定) 東京と大阪で行なわれることになりました
応札ご希望のお方は当社へお申しつけください
れば必要資料を取り揃えご便宜おはかりいたします
なお入札は一回きりであります

落札予想価格

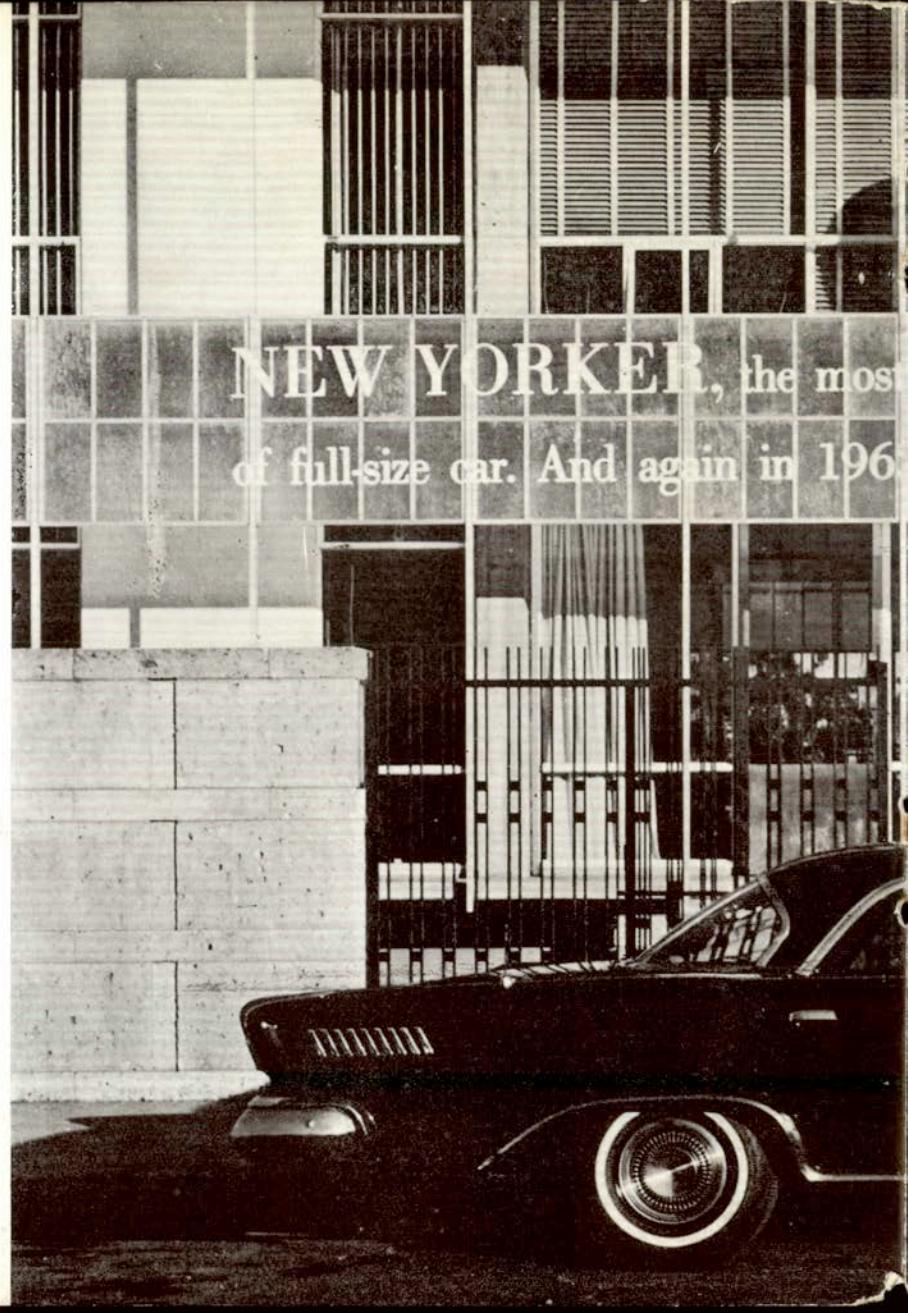
インペリアル・レバロン 4扉ハードトップ 850万円
クライスラー・ニューヨーカー 4扉セダン 700万円
クライスラー・ニューポート 4扉セダン 500万円
プリムス・フューリーV8 4扉セダン 219～328万円
バリアントV-200 4扉セダン 236万円

カタログご入用の節は下記へどうぞ!

インペリアル/クライスラー/プリムス/バリアント
西日本総販売店

神戸いすゞ自動車株式会社(外車部)

神戸市葺合区雲井通4丁目
TEL (22) 4751





元旦はみんなそろって生田神社へ初もうで。

式服一式

中川

感衣裳店

東店 そこう前セントラル街
入る浜側 ③③五七五五二四
西店 上沢七丁目電停上る
⑤〇六八〇

お菓子

二つ茶庵

神戸元町三
電③〇上五五一七

寿割烹
三福

神戸阪急三宮東口山側
③ 三一九八
神戸新聞会館地下
五 六 四 五

ショールと洋傘の店

いしだ洋傘店

三宮本通り二
二一六五



日本のお嬢さんの訪問をうけてよろこぶジア君。

すてきな年におくる
アセサリード工芸品

元町一 (3) 二四三五～六

イクシマヤ

男子洋品の店

神戸屋

元町二 (3) 二五八九

時計・宝石・貴金属

美田時計店

元町三 (3) 一七九八

舞扇
仕舞扇

富田屋

元町四丁目
六九二七



お姉さんもお友達もみんな神戸っ子 カルタ取りはジア君がチャンピオンです。

染
し
い
オモチャの店

キヨシマ屋

③元町二
三丁目
九

冬の季節に
楽しいオシャレ
男子洋品店

千秋堂

元町四
④六九五九

電化ストア

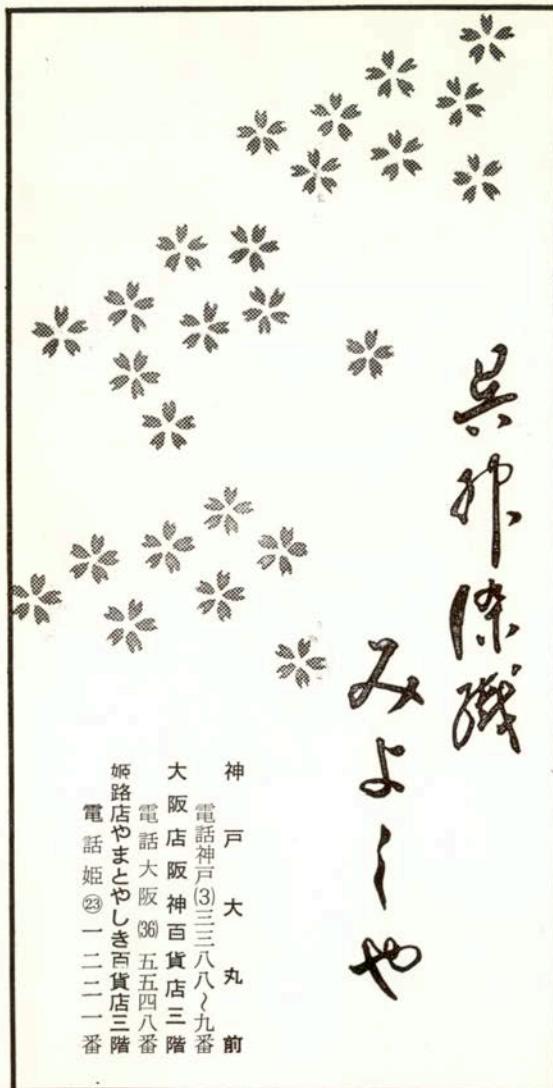
元町電機

元町六
④三七〇一五

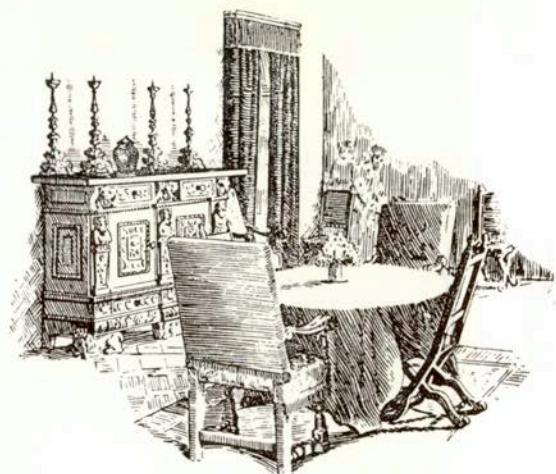
洋酒の店

あぶはち

③元町二
七九丁目
八



家具・室内裝飾・工芸品



永田良介商店

大丸前 T E L { ③ 5 5 2 0
 ③ 1 2 9 0